



This is our Communication on Progress
in implementing the principles of the
United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.



Communication on Progress

2012年度報告

対象期間 : 2012年1月～2012年12月

原田鋼業株式会社

2013年1月24日

◆目次



◆トップステートメント	p.3
◆グローバル・コンパクトの 10 原則	p.4
◆会社概要	p.5
◆2012年度活動の基本方針	p.6
◆人権・労働基準・腐敗防止分野に関する活動報告	p.7
◆環境分野に関する活動報告(省エネとリサイクル)	p.8
◆その他の活動報告(1:啓蒙活動への参加)	p.9
(2:地域貢献を目指して)	p.10
(3:世界の子供たちのために)	p.11

◆トップステートメント



国連の提唱する人権、労働、環境および腐敗防止に関する普遍的原則である『国連グローバル・コンパクト』に、当社は2011年1月から参加しています。

社内外での積極的なCSR活動の取り組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2013年1月24日

代表取締役社長

原田憲太郎

◆グローバル・コンパクト10原則



人権	企業は、 原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	企業は、 原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	企業は、 原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	企業は、 原則 10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

◆会社概要



会社名	原田鋼業株式会社
本社	広島県福山市大門町 5 丁目 6-35 〒721-0926 TEL. 084-941-3111(代表) FAX. 084-941-1312
資本金	3,000 万円
創業	昭和 20 年 10 月
設立	昭和 41 年 8 月 6 日
年商	48 億 8 千万円(46 期)
代表者	代表取締役会長 原田 弘人 代表取締役社長 原田 憲太郎
従業員数	100 名(グループ合計)
グループ	原田運輸倉庫株式会社 スチールプロ株式会社 有限会社クリーンライフ

◆2012年度活動の基本方針



国連グローバル・コンパクトへの支持を表明して2年目である本年度は、関連するステークホルダーへのグローバル・コンパクト支持の呼び掛けと、10原則に沿った会社運営と社員の意識レベル向上を目的とする。

特に、2011年度から取り組んできた「身近で誰もがができる活動」の幅を無理のない範囲で広げていくとともに、その活動そのものの定着を目指す。

◆人権・労働基準・腐敗防止分野に関する活動報告



人権に関する活動		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	来年度の活動目標・内容
国籍、性別、障害者などに対する差別、偏見の排除	性別による職務、役職への偏見排除と適正な昇進試験の運用。 ○	昨年度に続き、2名の女性が主任昇進を果たすことができた。 来年度の活動目標・内容 役職の昇進だけに止まらず、職務についても差別と偏見がない職場環境作りを目指す。

労働基準に関する活動		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	来年度の活動目標・内容
職能レベルの基準作りと運用	入社年数に応じた職能レベルの基準設定と、必要な資格習得の教育計画作成。 △	新入社員に対する教育計画の策定と運用は行われるようになったが、職務レベル及びそれに要求されるスキルの明確化については現在策定中。 来年度の活動目標・内容 職務と役職に応じて求められる資格やスキルレベルを明確にし、その評価と教育の仕組み作りを目指す。
働きやすい環境の整備	中小企業子育て支援助成金を含めた助成制度の導入と運用の仕組み作り △	子育て支援助成金の申請制度は策定したが、該当者なく導入に至らず。 来年度の活動目標・内容 他の助成金についても調査を進め、従業員への紹介とそれを補助する社内の制度整備を進めていく。
従業員の多様性の尊重	継続雇用制度を推進し、高齢者への雇用の場を提供 ○	本年度は、定年60歳を超えての継続雇用者が1名増え、65歳以上継続雇用者が、短時間労働者を含め6名となった。 来年度の活動目標・内容 多様な働き方を可能とする各種制度の整備と社風作りを進め、個人の能力に応じた職場の提供を目指す。

腐敗防止に関する活動		
本年度の活動目標・内容	結果と評価	来年度の活動目標・内容
官公庁等の入札に関する談合への関与禁止	入札への積極的参加の姿勢を示すことにより、業界内での不当な価格操作を排除。 ○	入札物件に対しての直接応札は数件に止まったが、当社の姿勢を業界内に周知させることはできた。 来年度の活動目標・内容 継続して活動を進めていく。また、この活動主旨をすべての取引に展開していく。

◆環境分野に関する活動報告(省エネ活動とリサイクル)



本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
消費電力3%削減	クールビズ、ウォームビズ。 無駄な照明消灯。 機器類の待機電力削減。	△	一昨年の東日本大震災への対応で、電力削減活動が定着していたためか、削減率は0.4%に止まった。	LED照明等の省エネ機器の導入、消費電力のモニタリング等を検討し、更なる節電活動を進めていく。
輸送効率の5%アップ	営業活動と効率的な配車で、合い積み配送の促進と空車配送削減。 エコ運転の励行。	△	燃料1ℓ当りの輸送効率として、配送距離は2年連続で5%アップを達成できたが、配送重量は逆に3%ダウン。	受注確保と配車計画の改善を進めるとともに、低燃費車両の導入等も検討し、配送効率の向上を目指す。
梱包用木材のリサイクル促進	梱包用木材の回収促進。 再利用時の点検、補修の強化。 用途に応じた材質の選定。	○	納入先の協力もあり、回収量アップ。回収後の点検と補修で再利用回数もアップ。	今後も回収率のアップを目指した活動を進めるとともに、再利用できる回数を更に高める工夫を行っていく。

<電力5%削減>



網戸で外気取入れ



事務所の消灯



工場の消灯



扇風機で循環

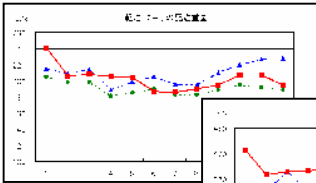


スイッチ付きコンセント

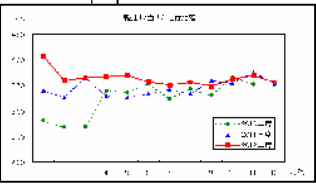
○クールビズ(26℃)、&ウォームビズ(22℃)
昨年導入した網戸や扇風機による室温調整効率化に加え、衣替え時期の変更等の細かな対応も行い、エアコンの温度設定の限定しない活動を進めています。

○無駄な電力削減
休憩中の照明、装置類の電源OFF活動に加え、パソコン等のIT機器のスイッチ付きコンセントを導入することで、待機電力の削減活動も行いました。


<輸送効率5%アップ>




輸送効率の推移



輸送重量の推移



エコ運転勉強会



添乗チェック

○合い積み配送の促進と空車配送削減
今年は、配送重量が伸びず、小口や急ぎの配送が増えました。このため、1回当たりの積載率が増えず、配車担当は苦悩した1年でした。

○エコ運転の励行
乗務員の改善活動の一環で、エコ運転のレベルアップに取り組んでいます。エコ運転の勉強会を催したり、添乗でのチェックを行いました。

<梱包用木材のリサイクル促進>



梱包用木材の回収



解体した梱包用木材



再利用のため仕分け



補修しての再利用

○梱包用木材の回収と再利用
梱包に使用した木材は、納入先より定期的に回収。壊れたり、古くなったものは解体し、使える木材だけを選んで、再加工して使用しています。

○再利用回数アップのための改善
今年は、使用する材木の強度や釘の打ち方も改善し、再利用できる回数を上げる活動にも着手しました。

◆その他の活動報告(1:啓蒙活動への参画)

UN-MDGsに関するフォーラムへの参画 (サマーコンファレンス 2012)



2012年7月、横浜市で、日本青年会議所主催のサマーコンファレンス2012が開催されました。この中で、「MDGsってなんだらう」というタイトルで、国連ミレニアム開発目標とそれに対する国際協力のあり方に関するフォーラムが開催されております。

当社の社長、原田憲太郎は、このフォーラムでパネリストを務めました。

微力ながら、UN-MDGs推進の一助となつたのであれば幸いです。

UN MDGsフォーラム

MDGsってなんだらう
～本当は身近な国際協力 今、私たちができること～

日時 7月21日(土)14:00～19:30 場所 さいごホール 対象 一般 定額 1,000円

皆さんは「UN MDGs」って知っていますか?「国際」って何が深い世界の難しいことのように感じませんか?知花くららさんのお話で、分かり易く国際協力の扉を開けます。国際協力をもうでない人も、必聴!です!



知花くらら氏 (元NHKアナウンサー) 原田憲太郎氏 (日本青年会議所理事長) 黒島高史氏 (元NHKアナウンサー) 水町達也氏 (元NHKアナウンサー)

UN-MDGs勉強会への参加



福山青年会議所主催の公開例会(5月度)で、UN-MDGsの勉強会が開催されました。「世界がもし100人の村だったら～小さな一歩が大きな一歩に～」のタイトルでの講演が行われ、当社からも大勢の社員が参加させていただきました。



普及活動の一環であるメルマガへの協力



福山青年会議所のLove&Peace推進委員会が発行するメルマガで、グローバル・コンパクトを紹介することになり、当社もインタビューに答える形で協力させていただきました。

メルマガは、約120人の地域の青年経済人に配信されました。

◆その他の活動報告(2:地域貢献を目指して)



福山城写生大会後援

福山城写生大会 第8回
2012 昭和の日
4/29日
午前の部より午後2時まで
福山城をテーマにした絵コンクール

対賞 徳島県立福山高等学校及び
小学校2年生以下
会場 福山植物園
ふくやま美術館前
主催 福山写生大会実行委員会
協賛 福山植物園
後援 福山商工会議所
協賛 福山商工会議所
協賛 福山商工会議所

出品予定
8:00 受付 絵画展覧開始
9:00 全場観覧 絵画展覧終了
14:00 作品回収開始 参加賞配布
入賞作品展覧予定
日時 4月29日(日) 9時～5時6日(日)
10:00～20:00
会場 福山植物園 イベント広場
観覧料 無料
日時 5月6日(日) 14:00～
場所 福山植物園 イベント広場

協賛 福山商工会議所
協賛 福山商工会議所
協賛 福山商工会議所
協賛 福山商工会議所
協賛 福山商工会議所



受付風景



お城をみながら家族で



表彰式



当社会長が代表を務める「明るい福山を考える」の主催する「福山城写生大会」が、今年もゴールデンウィークに開催されました。

毎年、小学校2年生以下の子どもたちを対象に行われ、今年で8回目を数えに至っております。

当社の社員たちも、ボランティアとして大会運営のお手伝いをしていますが、子供たちが絵を描く時の真剣な眼差しや、表彰式で喜ぶ顔を見るのが楽しみの一つになっています。

福山ばら祭への参加



福山市最大のイベントである「ばら祭」が、5月19～20日に開催されました。

当社から、新入社員を中心とする若手7名をローズ・ボランティアとして派遣し、「届けようローズマインド～東北へ、そして世界へと～」とのテーマで、東日本大震災復興支援としてのゴージャ苗木販売や、マリア撲滅を目指したNothing But Nets キャンペーン募金活動に協力しました。また、ご参加いただいた市民の方々に、UN-MDGsのステッカーを配布し、一人でも多くの方にUN-MDGsのことを知っていただくための活動にも加わりました。

日ごろ、ボランティア活動に縁のない若者たちも、お祭りという特別の雰囲気の中で、楽しみながらお手伝いし、企業や市民の社会的責任の意味するところを学んできたようです。

公園の環境保全

春の仲富池桜公園



整備前の鬱蒼とした公園



剪定後のさっぱりした公園



次世代のための植樹



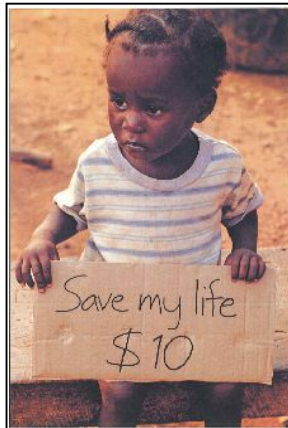
仲富池桜公園は、当社の本社所在地である福山市大門町にある公園で、桜の名所となっています。

この桜は、当社の初代会長、原田靖夫が、地元の方々に喜んでいただければと、ため池の周りに桜の木を植えていったのが始まりです。現在では、その時の木々も老木と呼ぶに相応しいものになっています。

当社では、この初代会長の意思を尊重し、地元の皆様に愛される公園造りの一助となればとの思いから、剪定作業や植樹など、できる範囲でのお手伝いを続けております。

◆その他の活動報告(3:世界の子供たちのために)

マラリア撲滅運動への参加「JCI Nothing But Nets キャンペーン」



JCI NothingButNets キャンペーン

マラリア撲滅運動

マラリアは夜行性の蚊を媒体とする死亡率高い感染症であり、毎年2億4700万人が感染し100万人の命が奪われています。その多くは5歳以下の小さい子どもたちです。感染を助ける効果的な対策として、国連が推奨する殺虫効果のある蚊帳の中で寝る事が有効であると実証されています。この殺虫効果のある蚊帳をひとつの家庭に配布する費用は、たったの、000円です。私たち全国704の青年会議所メンバーは尊い命を救うために、地球の情眼と共にマラリアと戦います。

あなたの一本が命を救う

この販売機の売上の一部でマラリアに苦しむ子どもたちの命を救うネットを購入させていただきます。お買い上げ頂きありがとうございます。

設置した自動販売機



このマラリア撲滅運動は、国際青年会議所と国連基金との共同事業の一つで、「JCI Nothing But Nets キャンペーン」の形で行われています。写真のような自動販売機で飲料を買くと一定金額が寄付され、殺虫剤処理された蚊帳がアフリカに送られるという仕組みです。いつも飲んでいる飲料を、この自動販売機から買うだけでアフリカの子供たちをマラリアから守る手助けができるということで、「身近で誰もがができる活動から」という当社の基本方針に叶ったものでした。当社では、3月よりこの自動販売機を本社、大阪支店、東京支店の3箇所に設置し、2012年度の寄付金総額は、33,796円となっております。

エコキャップ運動への参加



地球に愛を 子どもに愛を
ペットボトルのキャップを集めて 世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

ゴミとして焼却処分されるとキャップ430個で9,150gのCO₂が発生します。

ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けます。

あなたの行動が世界の子どもと地球の未来を創ります!

- 小さなキャップでも、分ければ資源! リサイクルして価値ある材料に。
- ペットボトルのキャップをみんなで集めよう! キャップは430個で10円になります。
- ポリオワクチンは1人分20円! キャップ690個で一人の子どもの命が救えます。

※無料メールサービス「エコキャップ」によりキャップの集積が1億円を超えれば2万円に還元されます。

エコキャップ推進活動 | **リサイクルメカニク** | **殺虫剤をワクチン製薬所へ寄付** | **殺虫剤をワクチン製薬所に寄付** | **殺虫剤をワクチン製薬所に寄付** | **殺虫剤をワクチン製薬所に寄付**

エコキャップ推進活動 ECOCAP
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本青年会議所本部 5F
 TEL: 03-5561-0251 FAX: 03-5561-0252
 URL: http://www.ecocap.org



現在ではかなり一般的になっているエコキャップ運動ですが、当社も遅ればせながら、3月よりこの活動に参加させていただきました。本社及び各支店に回収BOXを常設するとともに、会社のイベント等では、その会場に回収BOXを設置し、来訪された方々へも協力の呼び掛けを行って参りました。右下の写真は、日本卓球リーグのホームタウンマッチの様子で、東日本大震災復興支援の募金活動も一緒に行っています。取引先の社員の方々の協力もあり、2012年は約2,800個のキャップを回収することができました。この数は、社員一人当たりが月に4~5個のキャップを回収したことになります。この数はまだまだ増やすことができと思っています。今後は、簡単に回収できる方法を考えたり、社員のご家族や職場以外の場での協力もお願いしていこうと考えています。